

この5月は、肌寒かった前半から急に気温が上がった後半への変化が大きかったことや、中間考査もあったため、少し疲れが出てきているのではないのでしょうか。少しだけ立ち止まって、気持ちを立て直す時間を持ってみてもいいのではないのでしょうか。

1 今年度の「人権・同和教育ホームルーム活動」

予定は以下の表のようになっています。生徒の皆さんはそれぞれの学年で自分たちがどのような学習を行うのかを事前に把握して、自分自身の問題として積極的に取り組んでください。

学 年		1 年	2 年	3 年
目 標		人権問題の本質の理解と仲間づくり	同和問題の科学的認識	同和問題解決への実践力の養成
学 習 内 容	1 学期	私たちと人権	差別の起こり	確かな進路保障のために
	2 学期	私たちと人権	「解放令」と水平社運動の展開	結婚差別の解消に向けて
	3 学期	同和問題学習の意義	戦後の解放運動	同和問題解決のために

2 人権委員会スタート

今年最初の人権委員会は、学校が始まって間もない頃でした。各クラスから選ばれた2名、合計42名が集まり初めて顔を合わせました。昨年度3学期に決まっていた委員長・副委員長を中心に、今年度の活動について確認しました。活動時間が短いため、アンケート形式で今年の抱負などを答えてもらいました。その一部を紹介します。

今年の人権委員会の活動について

- ・北高の全ての生徒が、誰かを差別したり誰かに差別されたりすることがないように、人権委員として、学校の中の差別問題を見つけたり、差別を許さない態度を身に付けたりしたい。
- ・コロナ禍の中で制限されることも多いが、こんなときこそ身近な人とのつながりを大切に、互いに支え合える人間関係を作れるよう働きかけたい。
- ・人権学習では、まず知らないことが一番問題で、知らないから差別や偏見が生まれる。人権委員になったことをきっかけに、よりたくさんの人権問題について学び、向き合っていきたい。また責任を持って啓発していきたい。

他にもたくさんの意見がありました。皆さんも人権委員と協力してよりよい学校づくりを自分たちの手で実現していきましょう。

次は、皆さんにも読んでもらいたい本や見てほしい映像作品のおすすめです。本は北高の図書館にもありますので、朝の読書などで読んでみてはいかがでしょうか。「めぐみ」は7月に視聴会を行います。一緒に見て拉致問題について考えてみませんか。

【映像作品】

- ・めぐみ
- ・あん
- ・最強のふたり
- ・グリーンブック
- ・7番房の奇跡
- ・42 ～世界を変えた男～
- ・聲の形
- ・ズートピア

【本】

- ・私は私のままで生きることにした
- ・アンネフランク
- ・水を縫う
- ・私はマララ
- ・せかいがもし100人の村だったら
- ・僕はイエローでホワイトでちょっとブルー
- ・わたしのせいじゃない

人権だよりでは、人権委員会からのメッセージを掲載していきます。家族や友人と一緒に読んで、さまざまな人権問題について考えるきっかけにしてください。



お困りのことや、お気づきの点、御意見・御質問などがありましたら、学校に御連絡ください。 人権・同和教育課